



PORSCHE



IAA 2017のポルシェ

プレスキット

目次

複合燃費と排出量	3
-----------------	----------

IAA 2017のポルシェ

カイエン ターボと911 GT3ツーリングパッケージのワールドプレミア	4
--	----------

550PSのエンジンを搭載し、アクティブエアロダイナミクスと高性能ブレーキを装備した
カイエンモデルレンジの新しいフラッグシップ

SUVにさらなる911らしさを：ニューポルシェ カイエン ターボ	6
---	----------

新型エンジン、新型シャーシ、革新的なコントロールコンセプト、そしてさらなるコネクティビティ

第3世代ポルシェ カイエンを発売	9
-------------------------	----------

マニュアルトランスミッションを装備したリアウイングなしのポルシェGTモデル

IAAでワールドプレミアを祝う 911 GT3ツーリングパッケージ	14
--	-----------

700PS、後輪駆動、レーシングシャーシ、リアアクスルステアを備えるニュー911 GT2 RS

ポルシェ史上最もパワフルな911を公開	17
----------------------------	-----------

複合燃費と排出量¹⁾

カイエン:燃料消費量 11.3–11.1リッター/100 km(市街地)8.0–7.9リッター/100 km
(郊外)、9.2–9.0リッター/100 km(複合)、CO₂排出量 209–205 g/km

カイエンS:燃料消費量11.8–11.3リッター/100 km(市街地)、8.4–8.0リッター/100 km
(郊外)、9.4–9.2リッター/100 km(複合)、CO₂排出量 213–209 g/km

カイエン ターボ:燃料消費量16.4–16.2リッター/100 km(市街地)、9.5–9.3リッター/100 km
(郊外)、11.9–11.7リッター/100 km(複合)、CO₂排出量 272–267 g/km

911 GT3ツーリングパッケージ:燃料消費量20.2リッター/100 km(市街地)、9.2リッター/100 km
(郊外)、13.3リッター/100 km(複合)、CO₂排出量 302 g/km

911 GT2 RS:燃料消費量 18.1リッター/100 km(市街地)、8.2リッター/100 km(郊外)、
11.8リッター/100 km(複合)、CO₂排出量 269 g/km

¹⁾ 使用タイヤによって異なります。

IAA 2017のポルシェ

カイエン ターボと911 GT3ツーリングパッケージのワールドプレミア

ポルシェは、2017年9月12日から24日までフランクフルトで開催される第67回国際モーターショー (IAA)において、2つのワールドプレミアを行います。完全に新設計され、先日公開されたばかりのカイエン モデルラインと、911への追加モデルにこの栄誉が与えられます。

最高出力250kW(340PS)のカイエンと最高出力324kW(440PS)のカイエンSによる注目のワールドプレミアに続いて、新しいトップエンドモデルがIAAでデビューを飾ります。パワフルなドライブ、革新的なシャシーシステム、そしてアクティブエアロダイナミクスを備えたニューカイエン ターボは、スポーツカーのドライビングダイナミクスを実現しています。さらにポルシェは、フランクフルトにおいて911 GT3のツーリングパッケージを発表します。この純粋主義の高性能スポーツカーには、6速マニュアルトランスミッションと固定式リアウイングに代わる可変リアスポイラーが装備されます。史上最もパワフルな911である700PSのポルシェGT2 RSもモーターショーでワールドプレミアを祝います。

完全な新開発：新世代カイエン

ニューカイエン ターボは、そのセグメントにおいて再びスポーツ性能の基準を引き上げます。4リッターV8ツインターボエンジンが最高出力404kW(550PS)を発生し、アダプティブルーフスポイラーを含むポルシェ アクティブエアロダイナミクス、コントロールド3チャンバーエアサスペンション、ミックスタイヤ、そして新しい高性能ブレーキが、ドライビングダイナミクス向上のための完璧な基盤となります。電子制御ロール安定化システム(PDCC)やリアアクスルステアなどのオプションが真のスポーツカーの性能を可能にします。ニューカイエン ターボの0-100km/h加速タイムは3.9秒、最高速度は286km/hに達します。

V型6気筒エンジンを搭載したカイエンとカイエンSも新たに開発されています。パワフルで効率的なエンジンは、新しい8速ティプトロニックSとの組み合わせで、ドライバーの意のままに加速し、けん引力、およびクラス最高の性能を発揮します。スポーツカーのDNAによって、軽量設計された全く新しいシャシーは、このセグメントでは不可能だったレベルのドライビングダイナミクスを提供します。そこでは新しい

ドライビングダイナミクスシステムが重要な役割を果たし、ハイエンドサルーン並みの走行快適性がこのモデルをいっそう際立たせます。地形に応じて5種類のドライブおよびシャシーモードにより、オフロード走行はさらに容易になっています。

2台の卓越したスポーツカー：911 GT3のツーリングパッケージと911 GT2 RS

新しい装備仕様の911 GT3ツーリングパッケージ仕様車がお馴染みのGTスポーツカーに追加されます。パワフルな最高出力368kW(500PS)自然吸気エンジンを搭載した高性能スポーツカーの新しい仕様は、技術的な変更は行われず少し控えめなエクステリアになります。そびえ立つリアウイングは911カレラと同様のアクティブスポイラーに変更され、レザーインテリアが採用されます。純粹主義のコンセプトに従って6速マニュアルトランスミッションとの組み合わせのみ入手可能で、0-100km/h加速タイムは3.9秒、最高速度は316km/hです。

パワフルな515kW(700PS)の6気筒ツインターボエンジンを搭載した911 GT2 RSは、現在最もパワフルな史上最速の911です。911 GT2 RSの0-100km/h加速タイムはわずか2.8秒、最高速度は340km/hに達します。GTスポーツカーの伝統に従い、後輪を介してトルクが路面に伝えられ、優れたドライビングダイナミクスが抜群のドライビングエクスペリエンスによって明らかになります。高比率のアルミニウム、カーボン、およびマグネシウムの使用によって、車両重量1,470kg(燃料満タン時)という軽量設計を可能にしました。その他の専用装備として、ポルシェ デザインがポルシェ モータースポーツと協力してオーナーのために開発した911 GT2 RSクロノグラフがあります。

550PSのエンジンを搭載し、アクティブエアロダイナミクスと高性能ブレーキを装備した
カイエンモデルレンジの新しいフラッグシップ

SUVにさらなる911らしさを：ニューポルシェ カイエ ンターボ

ポルシェは、第67回フランクフルトモーターショーにおいて、カイエンのトップモデル、ニューポルシェ カイエ ンターボのワールドプレミアを行います。この第3世代カイエンの完全に新しいフラッグシップモデルは、またしてもこのセグメントにおいてスポーツ性能の基準を引き上げます。搭載される4リッターV8ツインターボエンジンは、最高出力404kW(550PS)を発生します。ドライビングダイナミクス向上の基礎となるのは、ルーフスポイラーを含むアクティブエアロダイナミクス、電子制御式3チャンバーエアサスペンション、前後でサイズの異なるタイヤ、新しい高性能ブレーキなどの、革新技术の組み合わせです。リアアクスルステアリングや48Vシステムを備えた電子制御ロール安定化システムなどのオプションを追加すると、このSUVは真のスポーツカーとしての走行特性を獲得します。ニューカイエンターボの0-100km/h加速タイムは4.1秒(スポーツクロノパッケージ装備車は3.9秒)で、最高速度は286km/hに達します。

さらにシャープになったデザイン

エクスクルーシブなフロントエンドとポルシェ・ダイナミック・ライトシステム(PDLS)のLEDメインヘッドライトを備えたカイエンターボは、他を圧倒する外観を備えています。夜間は2列のフロントライトモジュールによって他のカイエンモデルから区別されます。サイドビューの特徴は、塗装仕上げホイールアーチトリムを備えたワイドなホイールアーチに収まる、トップモデル専用の標準装備の21インチターボホイールです。リアエンドで鍵を握る特徴となるのは、ターボ専用のツインテールパイプです。ドアトリムとリアエプロンはボディカラー塗装仕上げとなります。完全に新しいインテリアは、さらにスポーティであると同時にさらに快適であるという、カイエンターボのキャラクターの広がりを示しています。完全にネットワーク化されたSUVのほぼ全ての車両機能は、ポルシェアドバンストコックピットの高解像度ディスプレイとタッチスクリーンを用いて表示・操作することができます。例えば、これに710WのBOSE®サラウンドサウンドシステムが標準装備されます。ドライバーと乗員は、18-way調整式のスポーツシートに座って、このフラッグシップモデルを体験することになります。一体型ヘッドレストは新しい機能で、これも911を彷彿とさせます。エクスクルーシブなターボデザインのマルチファンクションスポーツステアリングと全てのシートにヒーターが標準装備されます。

さらなるパワー、さらなるトルク：550PSの8気筒ツインターボエンジン

カイエ ン ターボの心臓部には、新しいターボチャージャー付4リッターV8エンジンが搭載されます。最高出力は先代モデルを22kW(30PS)上回る404kW(550PS)で、最大トルクは20N・mアップして770N・mとなります。新しい8速ティプトロニックSは、フルタイム4WDシステムのポルシェ・トラクション・マネージメントシステム(PTM)を通じて加速とスピードを高めます。ニューターボの0-100km/h加速タイムは4.1秒(スポーツクロノパッケージ装備車は3.9秒)で、最高速度は286km/hに達します。新世代のエンジンの特徴であるターボチャージャーはエンジンのV字ゾーンに配置されています(「センターターボレイアウト」)。燃焼室とターボチャージャーの間の排気経路が短縮されるため、エンジンは特にレスポンスに優れ、またセンターターボレイアウトによってパワーの供給が大幅に向上しています。もうひとつの利点は、エンジンがコンパクトな構造となることです。これにより低重心化され、コーナリング精度が向上するなど、ドライビングダイナミクスにプラスに働きます。

3チャンバーエアサスペンションを備えたアクティブシャシーシステムと前後でサイズの異なるタイヤ

カイエ ン ターボの新しい軽量シャシーは、スポーツカーの精度、サルー ンの快適性、オフロードカーの走破性という3つの長所を兼ね備えています。特に、新しい3チャンバーエアサスペンションと電子制御ダンパーシステムPASMの組み合わせにより、幅広い路面状況への適応幅が著しく拡大しています。前後でサイズの異なるタイヤ(標準装備でフロントが285/40、リアが315/35)というコンセプトは、スポーツカーの設計に由来するもので、前後方向と横方向の動力の伝達がいちだと向上しています。アダプティブエアサスペンションの設計において、スプリングストラットあたり3つのエアチャンバーが使用されているため、異なるバネ定数のマップ制御が可能です。6つのレベルの車高が選択可能で、オフロードの地形に応じて手動で最低地上高を調節することができます。オンロードおよびオフロード走行向けの新しい5つの走行プログラムにおいても、最低地上高はアクティブ制御されます。さらに、オプション装備であるリアアクスルステアリング、48V車両電気システムに接続された電子制御式ロール抑制システムのポルシェ・ダイナミックシャシー・コントロールシステム(PDCC)、ポルシェ・トルク・ベクトリングプラス(PTV Plus)などによって補完すれば、ニューカイエ ン ターボはスポーツカーと同じドライビングダイナミクスを獲得します。同時に、駐車と取り回しなどの日常の使い勝手、および快適性レベルも向上します。

アダプティブルーフスポイラーと新しい高性能ブレーキを備えた初のSUV

ニューカイエン ターボは、アクティブエアロダイナミクスの一環としてアダプティブルーフスポイラーを備えた初のSUVです。アダプティブルーフスポイラーは、ポジションに応じて効率の最適化やリアアクスルのダウンフォース増化に加え、エアブレーキポジションでは高速走行時の制動距離を短縮します。この結果、250km/hからフルブレーキングした場合、このSUVはアダプティブルーフスポイラー非装備の場合と比べて最大2メートル手前で停止します。エアロダイナミクスシステムがフットブレーキを補完する役割も果たすこととなります。カイエン ターボに標準装備される新しい高性能ブレーキシステムであるポルシェ・サーフェス・コーテッド・ブレーキ (PSCB) は、鋳鉄製ディスクにタングステンカーバイド層をコーティングしたもので、これによって制動性能と耐摩耗性が向上すると同時に、ブレーキダストの量も低減するため、リムが汚れにくくなっています。ブレーキプログラムにおける最高のシステムは、オプションのポルシェ・セラミックコンポジット・ブレーキ (PCCB) であり続けています。

新型エンジン、新型シャシー、革新的なコントロールコンセプト、そしてさらなるコネクティビティ

第3世代ポルシェ カイエンを発売

ポルシェは、第3世代カイエンを発売します。この成功を収めたモデルは、全面的に新開発され、さらにすぐれたポルシェ特有の性能と抜群の実用性を兼ね備えます。パワフルなターボエンジン、新しい8速ティプトロニックSトランスミッション、新しいシャシーシステム、そして総合的なコネクティビティを備えた革新的なディスプレイとコントロールコンセプトがスポーツ性と快適性を次の段階に進めます。発売時には、新開発された2種類の6気筒エンジンを選択することができます。先代を29kW(40PS)上回る250kW(340PS)の3リッターターボエンジンを搭載するカイエン。そしてカイエンSの先代を15kW(20PS)上回る320kW(440PS)の2.9リッターV6ツインターボエンジンは最高速度265km/hに達し、オプションのスポーツクロノパッケージを装着することで、0-100km/h加速は5秒以内となります。

アイコンックな911スポーツカーを髣髴とさせるカイエンは第3世代となり、外見も力強くなり、初めて前後サイズの異なるミックスタイヤとリアアクスルステアを備えます。このようなスポーツカー特有の特徴に加え、標準装備されるアクティブ制御の4WDシステム、ポルシェ4Dシャシーコントロール、3チャンバーエアサスペンション、および電子制御ロール安定化システムのポルシェ ダイナミックシャシーコントロールシステム(PDCC)によって、オンロード性能がさらに改善されています。標準装備品が大幅に拡張されたにもかかわらず、カイエンの重量は先代を約65kg下回り、なおかつオフロード使用に完璧に適合します。

ダイナミックなデザインランゲージ： さらに引き締まったデザインと大型ホイール

新しく、しかも親しみのある明快なデザインを備えたスポーティで精密なカイエンの外見は、ポルシェデザインのDNAを受け継ぐスタイルを維持しながら強化されています。フロントの大型化されたエアインテークは、向上した性能を明確に示します。新しい水平のライトエッジによって、停車中もワイドかつスポーティに見えます。ホイールベース(2,895mm)を変更することなくエクステリアを63mm伸ばし、車高を先代より9mm下げることによって、全長4,918mm、全幅1,983mm(エクステリアミラーは除く)のボディは、カイエンのエlegantな流線形の印象を強調しています。ラゲッジコンパートメントの容量は、先代を100リッター上回る770リッターです。サイズが1インチ大きくなったホイールは、ドライビングダイナミクスを高めるために初めて後輪が前輪よりもさらに大型化されました。再設計されて立体的なライトデザインとそれを結ぶ細長いLEDストリップを備えたテールライト上には、特徴的な3DのPorscheロゴが広がります。

ポルシェは、ヘッドライトに新たな3段階のライティングコンセプトを提供し、全てのカイエンにLEDヘッドライトが標準装備されます。アップグレードオプションとして、コーナリングライトやモーターウェイライトなど、各種ライトモードを追加するポルシェ・ダイナミック・ライト・システム (PDLS) を選択することができます。トップエンドのシステムはPDLS Plusを組み込んだ新しいマトリックスビーム付きLEDヘッドライトです。84個の個別に作動する発光ダイオードによって完全可変の配光と光強度が可能になり、対向車への眩惑のないハイビームやアダプティブ サイン グレア コントロールなどの新機能を備えます。

カイエンとカイエンSの発売

ニューポルシェSUVは次の2つのバージョンで発売されます。3リッター6気筒ターボエンジンを搭載したカイエンは、最高出力250kW (340PS)、最大トルク450N・mを発生し、標準モデルでありながら0-100km/h加速タイムは6.2秒(スポーツクロノパッケージ仕様車は5.9秒)、最高速度は245km/hに達します。同様に新開発された2.9リッターV6ツインターボエンジンを搭載したもう一つのモデル、カイエンSは、先代を15kW (20PS) 上回る最高出力324kW (440PS)、最大トルク550N・mを発生し、0-100km/h加速タイムは5.2秒(スポーツクロノパッケージ仕様車は4.9秒)、最高速度は265km/hに達します。

オンロードでさらに高速、起伏の多い地形でいっそう印象的： ティプトロニックSとPTM

カイエンのスポーツ性と快適性の両方を改善した性能は、新しい8速ティプトロニックSトランスミッションによるところが少なくありません。低いギアの素早いレスポンスタイムとスポーツレシオがオンロードとオフロードの両方の性能を高めます。8速ギアのロングレシオは、快適性とスポーツ性の強化とは対照的に、低トルク、最適な燃費、くつろいだ走行を保証します。

起伏の多い地形でも、カイエンは明快なドライビングプレジャーを提供します。プログラムされたオフロードモードによって、走行条件に合わせて適切な設定を簡単に選択することができます。デフォルト設定はオンロードプログラムで、穏やかなオフロード地形では、マッド、グラベル、サンド、ロックの4つのモードを作動すると、各条件に合わせて、ドライブ、シャシー、ディファレンシャルロックの設定が選択されます。パワーディストリビューションのために、ポルシェは、カイエン全モデルにアクティブ制御による4WDシステムを採用しています。インテリジェントなポルシェトラクション・マネージメントシステム (PTM) は、ドライブアクスル間で駆動力を可変配分し、カイエンの抜群のスポーツ性能の基本原理であるハングオンコンセプトは、起伏の多い地形においてもあらゆるトラクションの要件を満たします。

911に続く：ミックスタイヤを装着した軽量シャシー

ニューカイエンは、スポーツカー、オフローダー、ツーリングカーという3つのシャシーコンセプトを1つのデザインに結合します。そのためにセパレートッドリンク式のフロントサスペンションとマルチリンク式のリアサスペンションを備えた新しい軽量シャシーベースが開発されました。スポーツカー特有の装備が19インチ以上のホイールと前後サイズが異なる新しいミックスタイヤです。ミックスタイヤはコーナーの安定性とドライビングダイナミクスを改善します。カイエンはオプションで21インチまでのホイールを使用することができます。

新開発：リア アクスル ステアリング、エアサスペンション、ロール安定化システム

このフォーマットは、統合ポルシェ4Dシャシーコントロールシステムによって分析・同期されるアクティブ制御シャシーシステムの最適な基盤となります。システムは、ハンドリングをさらに最適化しながらリアルタイムで作動します。アクティブなPASMダンパーシステム(カイエンSに標準装備)を除く他の全てのシャシーシステムが新開発されています。初めてカイエンにエレクトリック リア アクスル ステアリングが装備されます。911とパナメーラですでに実証済みのこのシステムは、コーナーの俊敏性と高速車線変更時の安定性を改善し、さらに、回転半径を短縮して日常のハンドリングを容易にします。

新しい3チャンバーテクノロジーを備えたオプションのアダプティブエアサスペンションも、スポーツ性の高い堅固なロードホールディングとツーリングカーに期待される走行快適性を大幅に改善します。システムは先代同様に起伏の多い地形で地上高を調節することができます。ロールを安定化させるオプションのポルシェ ダイナミックシャシー コントロールシステム(PDCC)を装備すると、スポーツ志向のドライバーは、油圧システムからエレクトリックシステムへの切り替えによる恩恵を受けます。この切り替えは車両の強力な48Vの電気システムによって可能になります。短いレスポンスタイムによってドライビングダイナミクスの精度が向上し、穏やかに走行しているときも快適性がさらに改善されます。

ワールドプレミア：タングステンカーバイド層を備えたポルシェ サーフェスコーテッド ブレーキ

革新的なポルシェ サーフェス コーテッド ブレーキ(PSCB)によって、ポルシェは再び高性能ブレーキの開発において先駆的役割を担います。カイエン全モデルにオプション装備される世界初のブレーキは、タングステンカーバイドでコーティングされた鋳鉄製ディスクを備えます。この仕上げは摩擦値を高めて磨耗とブレーキダストを低減します。ポルシェ専用ブレーキは外見も印象的です。ブレー

キキャリパーはホワイトに塗装され、ディスク表面は組み付け後に独特の光沢を帯びます。PSCBは20インチおよび21インチホイールとの組み合わせのみ可能です。トップエンドのシステムはPCCBセラミックブレーキです。

PSMスポーツを備えた新しいスポーツクロノパッケージ

ニューカイエンはスポーツ性能に関してさらなる可能性を提供します。ポルシェはスポーツカーモデルをベースにしてスポーツクロノパッケージを再開発しました。ステアリングホイールのモードスイッチはこのアプローチを明確に示します。ドライバーは、ノーマル、スポーツ、スポーツ プラスと、個別に設定可能なドライビングモードから選択することができます。中央のスポーツレスポンススイッチを押すと、最高の性能に調整されたエンジンとトランスミッションのマップが作動します。スポーツクロノパッケージには、ニューカイエン最大のドライビングダイナミクスを引き出すことが可能な独立したPSMスポーツモードも含まれます。

さらなる低燃費とドライビングプレジャーにつながる軽量化

スポーツカーは軽量設計を必要とします。911とパナメーラに続き、カイエンの新しいボディも合金とスチールのインテリジェントな組み合わせを採用します。エクステリアは総アルミニウム製です。フロアパンアッセンブリー、フロントセクション、およびほぼ全てのシャシーコンポーネントが合金製です。技術ハイライトは、先代モデルより10kgの軽量化に寄与する革新的なりチウムイオンポリマー スターターバッテリーです。全体的には、LEDヘッドライト、大型ホイール、パークアシスト(フロントとリア)、WiFi ホットスポットを含むLTEテレフォンモジュール、ポルシェ コネクトサービス、および歩行者保護など大幅に拡張された標準装備にもかかわらず、カイエンの乾燥重量は2,040kgから1,985kgに軽量化されています。

デジタルの進化：ポルシェ アドバンストコックピットと新しいPCM

カイエンは、この新世代によってドライバーと車両の関係に新しい1章を設けます。ポルシェ アドバンストコックピットは、スポーティで贅沢な雰囲気完璧に溶け込みます。ポルシェによる新しいディスプレイとコントロールコンセプトの中心部は、ニューパナメーラとともに昨年発売された最新世代ポルシェ コミュニケーションマネージメントシステム(PCM)の12.3インチフルHDタッチスクリーンです。各デジタル機能はボイスコントロールなどで直感的に操作することができます。標準装備のポルシェ コネクトプラスを使用してオンラインサービスとインターネットにアクセスすることも可能です。そこにはリアルタイム交通情報表示を備えた標準装備のオンラインナビゲーションも含まれます。新しいセンターコンソール

ルのアナログスイッチは車両の主要機能に重点が置かれています。その他のスイッチは、スマートフォン同様に音声と触覚で操作するガラスルックのタッチパネルに統合されています。ポルシェ特有のアナログレブカウンターが中央に設置され、両側の2つの7インチフルHDディスプレイには、その他の全てのドライビングデータと、マルチファンクションステアリングホイールで選択した追加情報が表示されます。熱探知カメラを備えたナイトビジョンアシストは、レーンチェンジアシスト、交通標識識別を含むレーンキープアシスト、トラフィックジャムアシスト、サラウンドビューを含むパークアシスト、アダプティブクルーズコントロールを含むポルシェ イノドライブに加えて最も重要なアシストシステムのひとつです。

あなた個人のカイエン - さらなるカスタマイズとオンラインサービス

同時に、新しいPCMは次の段階のカスタマイズを提供します。ドライバーの要求に合わせることができるのはスタート画面とメインメニューだけではありません。6つまでの個人プロフィールの設定も可能です。プロフィールを使用して、多数の車内設定とともに、ライト、ドライビングプログラム、アシスタンスシステムの仕様を保存することができます。ドライバーは、装備に応じてBose®とBurmester®の新しいサウンドシステムを独自に設定することも可能です。さらにニューカイエンは、必要なときにオンライン接続して、LTE対応の統合SIMカードを介して拡張されたコネクテッドプラスサービスを使用することができます。たとえば、スマートフォンでエンジンから独立したヒーターを遠隔設定することも可能です。さらに、新しい標準パッケージとしてカイエン専用開発されたオフロードプレジジョンアプリは、起伏に富んだ地形の走行を詳細に記録し、録画をしてドライバーの技術改善を助けます。

マニュアルトランスミッションを装備したリアウイングなしのポルシェGTモデル

IAAでワールドプレミアを祝う 911 GT3ツーリングパッケージ

ポルシェの純粹主義の車両に新たに追加される911 GT3のツーリングパッケージは6速マニュアルトランスミッション仕様車のみで、固定式リアウイングの代わりに911カレラ同様の可変リアスポイラーが備わります。控えめなエクステリアの下には純粹なモータースポーツテクノロジーが隠されています。モータースポーツ由来の4リッター自然吸気エンジンは最高出力368kW(500PS)、最大トルク460N・mを発生します。最適なギアシフトによる911 GT3ツーリングパッケージ仕様車の0-100km/h加速タイムは3.9秒、最高速度は316km/hに達します。

「ツーリングパッケージ」の名称は1973年モデルの911カレラRSの装備仕様に遡ります。その当時も純粹主義の911デザインと伝統的なインテリア装備が主要なエレメントでした。このコンセプトを採用して現代版に進化させたニュー911 GT3のツーリングパッケージは、控えめな外見と伝統的なドライビングプレジャーを特に重視する高性能スポーツカーの愛好家のためのモデルです。

ツーリングパッケージでは、クラブスポーツパッケージとアルカンターラ仕様を除く911 GT3で選択可能なほぼ全てのオプションを装着することが可能です。これらのオプションには、ボディとホイールの全カラー、PCCBセラミックブレーキ、リフトシステム、LEDヘッドライト、全ての種類のシート、クロノパッケージ、オーディオシステムなどが含まれます。ツーリングパッケージオプションは、すでに注文が可能です。ドイツ国内では、911 GT3ツーリングパッケージ仕様車の価格は911 GT3と同様に152,416ユーロ(付加価値税込み)で国内専用の装備オプションが含まれます。

あらゆる点で高性能なスポーツカー

ツーリングパッケージにおいても、ボディはリアを除いて911 GT3と変更はありません。特別に設計されたフロントエンドの大型エアインテークと911 GT3モデル特有のエアアウトレットをラゲッジコンパートメントリッド前部に備えます。フロントとリアのライトは同じですが、ダークティンテッドカラーは施されません。サイドビューでは、センターロック式鍛造軽合金製ホイールが際立ちます。フロントは245/35 ZR 20タイヤと9インチ幅のホイール、リアは305/30 ZR 20タイヤと12インチ幅のホイールの組み合わせです。新しい仕様車のボディはホイールアーチが911カレラより44mmワイドになり、タイヤはパワフルな印象を生み出します。さらに25mm低くなった車高がワイドな車幅をいっそう強調します。

スポーティなエアロダイナミクス： ティアオフエッジを追加したリアスポイラー

リアエンドでは、精緻な構造が最初に目を惹きつけます。通常の911と同じ構造のリアスポイラーのウイング部には、ボディカラー同色塗装のエアロダイナミックティアオフエッジ(ガーニーフラップ)が備わります。特別に設計されたリアリッドグリルには“GT3 touring”ロゴが冠されます。その他の特徴的な装備にはシルバーカラーのサイドウインドウストリップ、スポーツエグゾーストシステムのテールパイプ、ヘッドライトウォッシャーシステムのカバー、リアの“Porsche”ロゴが含まれます。「ブラックエクステリアツーリングパッケージ」を選択すると、上記のエLEMENTが911 GT3同様のブラックになり、フロントとリアのライトもダークティンテッドカラーになります。

レザーインテリア

インテリアはマニュアルトランスミッションを装備した伝統的なスポーツカーの雰囲気を生み出します。純粹主義のGTモデルらしく、アルカンターラではなく上質なレザーが広範囲に使用されています。12時位置にマーカーの付いたステアリングホイールリム、シフトレバー、ドアパネルアームレスト、センターコンソールの収納ボックスリッド、インナードアハンドルがスムーズ仕上げのレザーで覆われます。シート中央部はブラックファブリックです。ヘッドレストにはポルシェ クレストがエンボス加工されており、パーシャルレザーインテリアのステッチは全てブラックです。ブラックアルミニウムのトリムがインテリアに仕上げのタッチを加えます。

モータースポーツ由来のパワフルな6気筒自然吸気エンジン

パワートレインとシャシーは、ツーリングパッケージを含めてマニュアルトランスミッションを装備する全ての911 GT3モデルに共通です。総排気量4リッターの6気筒水平対向自然吸気エンジンは911 RSRや911 GT3 Cupなどレーシングカーのテクノロジーが採用されています。最もパワフルな自然吸気直噴エンジンで、ポルシェがこれまでに開発した公道仕様6気筒水平対向エンジンで最大の総排気量を備えます。このエンジンは高回転コンセプトを特徴としており、最高回転数はスポーツカーのエンジンとしても並外れた9,000rpmに達します。

6つのギアのギア比は、エンジンの出力に合わせて正確に調整されており、特にスポーティなシフト特性を発揮します。自動中間加速機能がシフトダウン時の刺激的なサウンドを保証します。この機能はセンターコンソールの‘スポーツ’スイッチを押すと作動し、ギアが高速で同期されて非常にダイナミックなシフト操作が可能になります。GTスポーツマニュアルトランスミッションは自動ブレーキを備えた機械式リアディファレンシャルロック(PTV)にパワーを伝えます。

コーナーで高速、ストレートで安定：リアアクスルステアリングを備えたりジッドシャシー

911 GT3のシャシーはポルシェがモータースポーツで数々の経験をしてきた証です。精巧な基本設計に加えて、アクティブなリアアクスルステアリングによる卓越したハンドリング特性も備えます。リアアクスルステアリングは、速度に応じて後輪を前輪と同位相または逆位相に操舵して、俊敏性と安定性を向上させます。また、前後のタイヤサイズによって、前輪は操舵力と制動力を最適に伝え、後輪は駆動力とトラクションの伝達に寄与します。

標準装備されるポルシェトラックプレジジョンアプリ

全ての911 GT3モデルの標準装備には、リアルタイム交通情報付オンラインナビゲーションモジュールを含むポルシェ コミュニケーション マネージメントシステム(PCM)に加え、コネクト プラスモジュールとポルシェトラックプレジジョンアプリも加わります。このアプリによって、スマートフォン上での詳細なドライビングデータの表示、記録、および分析が可能になります。

700PS、後輪駆動、レーシングシャシー、リアアクスルステアを備えるニュー911 GT2 RS

ポルシェ史上最もパワフルな911を公開

ポルシェの最も速く最もパワフルな公道走行可能な911は、発進の準備が整っています。ニューポルシェ911 GT2 RSは、フランクフルトで開催される国際モーターショー (IAA) においてショーデビューを飾ります。この高性能スポーツカーの心臓部には、515kW (700PS) を発生するツインターボ水平対向エンジンが搭載されます。燃料満タンでの車両重量が1,470kgという軽量の2シーターは、静止状態から100km/hまで2.8秒で加速します。この後輪駆動のクーペの最高速度は340km/hです。モータースポーツとほぼ同じドライブテクノロジーにより、ニュー911 GT2 RSは、3.6リッターの先代モデルを59kW (80PS) 上回り、50Nm増となる750Nmのトルクを達成しています。

このエンジンの基になっているのは、427kW (580PS) を発生する911ターボSの3.8リッターエンジンです。性能向上のために、大型ターボチャージャーが、より多くの圧縮空気を燃焼室に送り込みます。新たに追加された冷却システムは、ピーク負荷域で最適な冷却をもたらす、非常な高温になるとインタークーラーに水を噴射します。これにより、過圧域での吸気温度をオーバーブースト可能な温度域へと下げ、極限状態であっても最適な出力が保証されます。ニューGT2 RSに搭載されるカスタマイズされたGT 7速ダブルクラッチトランスミッション (PDK) は、トラクションを途切れさせずにパワーの伝達を可能にします。さらに、専用開発のエグゾーストシステムは、極めて軽量のチタン製で、911ターボに使われるシステムよりも約7kg軽く、これまでにない感情に訴えるサウンドを響かせます。

ポルシェ デザインは、高性能スポーツカーのデビューを祝して、初めてとなる特別なウォッチを発売します。モータースポーツの世界を象徴する911 GT2 RSウォッチは、この新車のオーナーのためだけに用意され、2017年6月30日よりポルシェ正規販売店でニューGTモデルと同時にオーダーする場合に限ってお求めいただけます。

並外れてダイナミックなコーナリングのためのレーシングシャシー

スポーツにおける訓練とは、あらゆる細かな部分を習得することを意味します。そしてスーパースポーツカーの世界では、コーナリング速度は別のレベルにあります。911 GT2 RSは、リアアクスルステアとウルトラハイパフォーマンス (UHP) タイヤを備える完璧なレーシングシャシーのおかげで、その速度域に達します。全てのGTスポーツカーと同じく、新しいトップモデルは、専用設定されたPSMを備え、さらに

最適なドライビングダイナミクスをもたらすように調整されたスポーツモードが追加されます。パワフルなエアインテークとエアアウトレット、そして堂々としたリアウイングは、車両のエアロダイナミクスが形状とデザインの両方を極めたことを強調しています。大径ワイドホイール(フロント:265/35 ZR 20、リア:325/30 ZR 21)は、並外れた制動力と旋回力を保証します。911 GT2 RSは、ポルシェ・セラミックコンポジット・ブレーキ(PCCB)を標準装備しています。フロントフェンダー、ホイールハウジングベント、スポーツデザインドアミラーのアウトターシェル、リアサイドセクションのエアインテーク、およびリアエンドのパーツは、多くのインテリアコンポーネントと同様にカーボンファイバー強化プラスチック(CFRP)製です。エンジンフードも車両をできるだけ軽くするためにカーボンで作られており、標準仕様のルーフはマグネシウム製です。両方のボディパーツには、側面に幅広いキャラクターラインが入っています。

30kgの軽量化をもたらすオプションのヴァイザッハ パッケージ

パフォーマンスは、いつでもさらなるレベルアップが可能です。それは911 GT2 RSについても言えます。それゆえポルシェのエンジニア達は、約30kgの軽量化をもたらすオプションのヴァイザッハ パッケージを開発しました。このパッケージには、カーボンファイバー強化プラスチック製とチタン製の追加エレメントが含まれます。例えば、ルーフ、スタビライザー、および前後アクスルのカップリングロッドはカーボン製です。マグネシウムホイールは、車両重量とバネ下重量の両方を軽減し、印象的なシャシー特性をさらに向上させます。ラゲッジコンパートメントリッドとカーボン模様仕上げのルーフには、ボディカラー同色のセンターストリップがあしらわれ、特徴的な外観を生み出します。

真にスポーティなインテリア

911 GT2 RSの室内は、標準装備のレッドアルカンターラ、ブラックレザー、およびカーボン模様仕上げのインテリアパーツによって占められています。パドルシフト付GT2 RSスポーツステアリングホイールは、素早くスポーティなシフトチェンジを可能にします。ドライバーと助手席乗員は、カーボン模様仕上げのフルバケットシートに座って高性能スポーツカーのドライビングダイナミクスを体験します。全ての911と同じく、ポルシェ コミュニケーション マネージメントシステム(PCM)は、オーディオ、ナビゲーション、および通信を一括制御するユニットです。コネク ト プラスモジュールとポルシェトラック プレシジョン アプリも標準で含まれており、走行データの詳細な記録、表示、分析をスマートフォン上で行うことができます。

オプションのクロノパッケージを装着すると、PCM機能が拡張されてパフォーマンスディスプレイが追加され、これを使ってコースタイムを表示、保存、評価できるようになります。パッケージには、ダッシュボード上のアナログ／デジタルストップウォッチも含まれます。さらに、911 GT2 RSのクロノパッケージには、ラップトリガーが付属します。スタート／フィニッシュラインに設置された外部マーカールと組み合わせてポルシェトラック プレシジョン アプリを使用することで、このラップトリガーは、ドライバーがラップタイムを極めて正確に記録することを可能にします。

車両に添えられる限定ウォッチ：ポルシェ デザイン911 GT2 RSクロノグラフ

ポルシェ デザインは、ポルシェ モータースポーツ部門と組んで、新しいスーパースポーツカーのお客様のために911 GT2 RSクロノグラフを開発しました。これは、911 GT2 RSのドライバーのためだけに確保されます。その心臓部には、ポルシェ デザインが3年を費やして開発した初めてのクロックムーブメントが搭載されます。このキャリバー01.200は、フライバック機能と荷重経路を最適化したムーブメントブリッジを搭載し、COSC(スイスクロノメーター検定協会)の認定を受けています。ケースは軽量のチタン製です。

フライバック機能は、モータースポーツから着想を得ており、ポルシェ ウォッチならではの特徴を示すものです。伝統的なクロノグラフでは、連続して計測する場合にボタンを3回押さなくてはなりません。最初に押すとクロノグラフが停止し、2回目に押すとリセットされ、3回目に押すと計測が再開されます。フライバック機能を備えるクロノグラフでは、これらの操作が自動的に素早く連続して行われます。ストップウォッチ機能と現在の時刻表示は、イエローのマーキングを用いて明確に分けられています。このウォッチの多くのディテールは、高性能スポーツカーに基づいています。タングステン製の巻き上げローターは、911 GT2 RSのホイールを基にデザインされています。文字盤はカーボン製で、時刻表示のデザインはメータパネルとタコメータを完全に模しています。911 GT2 RSおよびそれと対をなすウォッチは、世界中のポルシェ正規販売店でのみお求めいただけます。車両とウォッチは、お客様のご要望に応じて個別に生産され、一緒に手渡されます。